

☆冬期研修「実践活動報告書」☆

～日本語ボランティア活動のスキルアップ・継続率アップ双方アプローチ～

地 29 三好直美 大和市国際化協会

<p>課 題</p>	<p>1:1のペア固定での日本語支援が現在約100組稼働しております。</p> <p>◎ボランティア： スキルアップ(ex 一方的な教え込みではなく傾聴共感型のレッスン思考強化、ボランティア同士の自発的な提案や話し合いによるボランティア活動の促し)</p> <p>◎日本語学習者： レッスンの効果的な継続(ex 1ターム12回終了時の自己振り返りや評価ができるようなものを導入検討、レッスンスタート時、および途中経過での日本語定着度や満足度等をはかるヒアリングシートの導入検討)</p> <p>上記二点のアプローチで、年度内の実施結果を出すことを目指していました。</p>		
<p>背 景</p>	<p>私が2024年4月に日本語支援員として着任し、ケース数こそ減ってきていますが、未だ日本語学習が必要な方が、継続せずに終了する、もしくはフェイドアウトするということの一部起きており、引越したり転職、ご家族の最優先で行わなければならないことなどの不可抗力を除いて、そのようなケースをゼロにしたいと考えております。</p> <p>これを考えていったときに、上記課題ボランティアと学習者の二方向へのアプローチが必要であると考えました。</p> <p>ボランティアは、傾聴や共感の支援の色を持つことで、学習者が本来達成される各々の目的目標や、要望にもっとフィットした学習が提供できるようになるのではないかと。またボランティアという範囲の中で、そこを自発的に取り組んで伸ばしていただけるような環境を整えたいと考えました。</p> <p>学習者は、定期的なヒアリングと振り返りを行うことで、現状の把握と変化しているかもしれないニーズに対応し、レッスン内容の修正やボランティアへの要望を出していけるようになることを考えました。自己評価的なものを取り入れたらよいのではという案は、去年度末に受けた研修からヒントを得たものです。また秋季研修でみなさんからのご意見や実施例も頂戴し、反映しています(10/3秋期研修。下表赤字箇所中心に反映)</p>		
	<p>↓事前課題提出時作成内容(黒字)・修正内容(赤字)↓</p>		<p>↓講座等実施内容↓</p>
<p>2025. 8&9</p>	<p>【日本語ボランティア向け】 ☆すでに決まっているブラッシュアップ講座の実施。多文化共生をテーマにした学習者に向けての寄り添い方、相手のバックグラウンドを把握する重要性、学習への伴奏の仕方の講座となった。</p>	<p>【日本語学習者向け】 ★学習者ヒアリングシートもしくは自己評価シートの情報収集、たたき台の作成。</p>	<p>ブラッシュアップ講座では多文化共生の内容で実施(8/30・9/27志賀玲子講師)。 学習者への寄り添い方、相手のバックグラウンドを把握する重要性を踏まえて実施。</p>

2025.10	<p>☆10/22 水にボランティア座談会実施。どんなことを共感共有したいか話し合いをし、学習者登録時のヒアリングシート一旦完成。プレ実施。</p> 	<p>★学習者ヒアリングシートもしくは自己評価シートの完成 順次導入実施</p> <p> まだ手が付けられず…</p> <p>10月交流会で学習者のどんな内容を事前に把握しておきたいか、意見を聞き取り。</p>	<p>☆ボランティア交流座談会企画実施 10/23 水</p> <p>☆日本語ボランティア養成講座企画準備</p>
2025.11			<p>☆ボランティアブラッシュアップ講座企画 今回は“やり方”のスキルアップで学習者に寄り添う視点を持てるものを</p>
2025.12		<p>★日本語ボランティア ターム終了時(12回)のふりかえりシート作成。</p> <p> ボランティアと学習者と、一緒にかけるようなものに。</p>	<p>☆ボランティアブラッシュアップ講座準備 講師：迫田久美子講師 古本裕美講師 テーマ：シャドーイング</p>
2026.1	<p>☆ボランティア交流会第二回目実施。</p> <p> 次年度のボランティア向けブラッシュアップ講座についてアンケートを実施、扱ってほしいテーマについて座談会で一緒に検討する(1/20 資料作成時点では予定。2/6 報告)。</p>	<p>★日本語ボランティア ターム終了時(12回)のふりかえりシートお試し実施</p> 	<p>☆ボランティア養成講座実施(1/16~3/6) ボランティア交流会第二回目実施(1/26)</p> 
2026.2	<p>☆登録時にプレイスメントテストとともにニーズヒアリングシートセットで実施。</p> <p> 件数を集めて3月本格導入</p>	<p>★実施後の課題点洗い出し、修正版作成、学習者に本格導入実施</p> <p> 件数を集めて3月本格導入</p>	<p>☆ボランティアブラッシュアップ講座実施予定(2/21・3/21)</p> <p>☆“にほんごおつかれさまウィーク”3月実施</p>

◎ “私だけではなく職員全員ができるものを”と当初考えていたものを、もう少し広く構えるようにソフトチェンジし、ボランティアのみなさんとも実施できるものと再検討しました。傾聴姿勢でよりニーズに特化した提案に繋がるもの、そしてボランティアの自主性も重視して、ご一緒に考えていただける方、進めていただける方から巻き込んでいくものを取り入れたいと思いました。

◎ ボランティア・学習者・協会職員、現場に傾聴し、各立ち位置のより良い活動に叶うものを、みなさんと考案していける組織づくりを目指します。